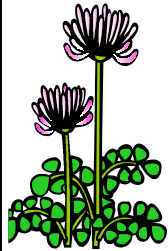




啐啄とは「内から殻をたたき雛、外から殻をつつく親鳥」

呼吸がぴったり合わさって命が誕生していくさまを表しています。今年度も呼吸を合わせて子どもたちを育ててまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

新 教育要領・学習指導要領に備える



3月下旬、新教育要領(幼稚園)・新学習指導要領(小中学校)が告示されました。

新教育要領の大きな改正点は「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を示し、その成長ぶりに基づく「評価の実施」を位置付けた点にあります。

一方、新学習指導要領について文科省は、「鍵となる二つの概念として“主体的・対話的で深い学び”と“カリキュラム・マネジメント(CM)”を位置付けて、学校の全体的な改善を行うために相互の連動を図り機能させることが大切である」としています。各報道は、キーワードとして CM を大きく取り上げました。(下記※を参照)

“主体的・対話的で深い学び”や“CM”をはじめ、外国語活動・英語科の時間数増加への対応、“特別の教科”道徳への備え、総合的学習を軸にした横断的な学習の進め方など——平成29年度は、新学習指導要領の周知と同時に、次年度以降の移行措置・全面实施に向けた態勢を整備しなくてはなりません、残された時間はそれ程多くはありません。

	平29年度	平30年度	平31年度	平32年度	平33年度
新教育要領 幼稚園	周知期間	全面实施	→	→	→
新学習指導要領 小学校	周知期間	移行措置	→	全面实施	→
新学習指導要領 中学校	周知期間	移行措置	→	→	全面实施
特別の教科「道徳」小学校	移行措置	全面实施	→	→	→
特別の教科「道徳」中学校	移行措置	→	全面实施	→	→

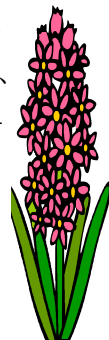
※【カリキュラム・マネジメントの三つの側面】文科部ホームページ

①各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、その目標達成に必要な教育の内容を組織的に配列すること。

②子どもたちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。

③教育内容と教育活動に、必要な人的・物的資源等を地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

充分な備えで、円滑な“移行と全面实施”を！



南三小 全国学校体育研究優秀校に輝く

体育指導や体力向上の研究・実践を進める全国の学校園の中から、南第三小学校が文科省の平成28年度優秀校の表彰を受けました。(優秀校102校…小45校、中37校、高17校、支援3校)(最優秀校3校…小2校、幼1園)

実践報告の内容からは、「運動好きな子どもの育成」と「体力向上」に取り組んだ優秀校・最優秀校には、共通する以下の3点があることに気付きます。

① 体育授業の充実…運動の特性や魅力を味わえる授業を全員で取り組んでいます。

例)・運動量確保の為にサーキットトレーニング等を取り入れた1時間の“授業の基本”の作成と共有

・各運動の特性に応じた指導や技能を高める指導の工夫点の共有

・6年間を見通した体育指導の系統表の作成と共有

・校内授業研究&実技研修会の実施 など

② 体育的諸活動と環境づくりの充実…自ら挑戦し運動に親しめるよう1年間を通した活動と環境作りを進めています。ポイントは喜び合える・励まし合える・認め合える“つながり”の中でこそ、意欲・関心が持続でき成果に結び付くことです。

仲間づくりや異年齢集団づくり等との有機的な結び付きが大切です。

例)・仲間・時間・空間を考えた諸活動

・育てたい力の明確化と仲間づくりにつながる諸活動の継続した取り組み

・常設の用具・設備の整備と維持管理&積極的活用に向けた教職員の一致した意識

・自分や友達の頑張りが確認でき成就感を味わえるカードや掲示の工夫 など

③ 生活・健康・体づくりへの関心を高める取り組みの充実

…観点に沿って自身を見つめ、改善への主体的な取り組みを促す指導を進めています。

例)・基本的生活習慣・食事・睡眠・運動に関して発達段階に合った系統的な指導&家庭との連携

・新体力テストを全学年で実施し運動への関心を高め課題意識と意欲を促す指導 など

先進校の研究・実践に学び、1年間を見通した“体力づくり”を進めたいものです。



進学準備は整いました

～入学式が待ちどおしいです～

緊張感を持ちながらも、希望や夢や決意を胸に抱き、入学する学校に大きな期待を寄せる子どもたち。

そのような子どもたちの気持ちを受け止め、新しい環境への順応をスムーズにさせたいと、保・幼・小・中が連携した取組みを計画的に進めています。

小学校体験入学



正確に時刻を読み取る1年生に憧れの眼差し。(北小)



国語の教科書を読む張りのある声が素敵です。(七小)

半田幼稚園・つぼみ保育園の園児たちが2/20に第七小学校で、東野幼稚園・ルンビ二保育園・池尻保育園の園児たちが2/23に北小学校で体験入学を行いました。

教室を巡ると、いつも優しく接してくれるお姉さんお兄さんたちが真剣に学び合っています。この姿をしっかりと見つめる園児たち。“学びへの期待と心構え”を感じているように思いました。

体育館では1年生全員から

歌や劇などがプレゼントされ、温かな歓迎のメッセージが伝わってきました。また、全員で楽しんだゲームから生まれた“喜びの輪”が体育館一杯に広がっていきま



1年生の大きな声援が一体感を生んでいきました。(七小)

バイキング給食の様子も見学しました。手際よく準備を進める当番の子どもたち。次々に配膳が済んでいきます。そして姿勢を正して静かに待つお兄さんお姉さんたち。…園児たちはこのような様子に目を見張りながら、1年生への憧れと親しみを一層抱いているように思いました。



てきぱきと準備を進める1年生に驚きです。(北小)

小学校の教育活動に触れることで、明るい展望を持って入学式に臨むことでしょう。

就学前MIM指導

【MIM(Multi-layer Instruction Model)=多層指導モデル(小学校低学年でスラスラ文章が読めるように、小さい「っ・や・ゆ・よ」などの特殊音節を含む語を確実に習得することをめざす指導法)】

市内の5つの幼稚園・こども園に、同じ校区の

小学校教諭と子ども理解コーディネーターが訪ね、入学後のスムーズな文字指導につながる就学前のMIM指導を行いました。

言葉に合わせて両手を打ったり握ったり、みんなで声を出し合いながら“言葉遊び”を楽しみます。

ねこ↪ねっこ、おばさん↪おばあさん、にんぎょ↪にんぎょう…など、音節の少ない言葉から徐々に促音・長音・拗音を含む言葉や、濁音・半濁音を含む身近な言葉を取り上げていきます。言葉に合った基本的な手の動きに関心を持ってもらうのが目的です。

言葉・声・手の動きの結びつきが、園児たちには新鮮で楽しく言葉への興味がどんどん高まっていきました。

このMIM指導は入学後も、全ての小学校で計画的・継続的に実施されます。そして、子どもたちが戸惑うことなく「正しく読み・正しく書く」力の基盤となっていきます。

中学校授業体験



テンポの良いやりとりで親しみが増していきました。

第三中学校の田上先生(理科)と小林先生(社会)が、西小学校と第七小学校の6年生全クラスで出前授業を進めています。今回は2/27に七小の3クラスで行われました。

「原始生物から一人ひとりの今に続く“生命の歴史とつながり”を感じてもらいたい。」「七小の6年生も西小の6年生も遺伝子レベルでは限りなく等しい存在で、互いに通じ合える存在であることを伝えたい。」

このメッセージに興味を持って受け取ってもらえるよう、キャベツ→ブロッコリー→カリフラワーへの連続性を提示することで、笑顔や笑い声や親しみが教室に広がっていきます。

児童の反応や発言・疑問を丁寧にすくい取り、発問を投げ掛け進む“社会科授業”を体験することで「中学校の授業が楽しみになりました」「また、こんな授業を受けたいです」など、進学への明るい展望を沢山持つことができました。



もっと自分を知ってほしいのでたくさん書きました。

また「少しでも6年生一人ひとりをよく知ってあげたい」と願う中学校と、「自分の特性や性格・得意・不得意・心配事などを知っておいてほしい」と思う6年生とが授業やアンケートを通して、中学校への信頼と結びつきが強まったように思いました。



小学校への親しみと安心が増していきます。(西幼)



私たちの入学を待っているんだ！(半田幼)